

みんなの願いは窓口無料

ニュース13-4 13年9月27日

福祉医療給付制度の改善を進める会

事務局：長野県社保協内

県民シンポ開催まであと10日 高まる期待に応え、参加確認を急ごう

「賛同と参加」の返答が36団体・個人から、問い合わせ電話4件。
～長野県弁護士会名義後援、安曇野市医師会・木祖村から賛同
県会議員の参加表明5会派（自民、民主、県民クラブ、共産、無所属）

実行委員会事務局と保険医協会が発送した県民シンポへの賛同・参加案内への返答が、26日現在36団体・個人からありました。内訳は、病院3、県の団体3、地区医師会1、各議員20、役場1、自治体労働組合3などです。基調講演される村上弁護士の尽力あり、長野県弁護士会から名義後援の返答、安曇野市医師会、木祖村から賛同の返答。県議からは、10人から返答があり、自民党、改革・新風（民主党）、県民クラブ・公明、共産党、無所属改革クラブの5会派の議員から参加表明がありました。病院では、飯田市の西沢病院、長野市の吉田病院等から賛同の返事、県の団体では、長野県ひとり親家庭等福祉連合会、長野県精神保健福祉連合会などから賛同の返事がありました。また、栄村・富士見町・南木曾町の各職員労働組合から賛同の返事がありました。

こうした、高まる期待の声に応え、各団体とも参加の確認を急ぎましょう。

＜シンポジストが確定しました＞

* 子どもを持つ親：健和会病院小児科に通院している患者の母2名（文書発言）

障がい者：原 孝雄さん（あずみ養護学校教諭・透析患者）

医療関係者：小山 奈緒さん（上伊那生協病院・医療ケースワーカー）

教育関係者：古澤 絵美さん（長野市川中島中学校・事務職員）

子ども塾関係者：児玉 典子さん（反貧困セーフティーネットアルプス・相談員）



子ども・障がい者の医療費は窓口無料化せよ！

9・15飯田市・健和会病院健康まつりで署名行動



子ども・障がい者の医療費窓口無料化を求める県知事への要望署名が各団体に下され、署名行動が開始されました。9月15日開催された飯田市の健和会病院の健康まつりで署名コーナーが設置され、20人の方の協力がありました。

新しい署名活動は来年8月実施予定の県知事選挙を意識し、県下有権者の2割（34万人）を目標に取り組みます。また、署名活動の教材用に作成されたパンフも活用して学習会などを開催し、活動の幅を広げましょう。